

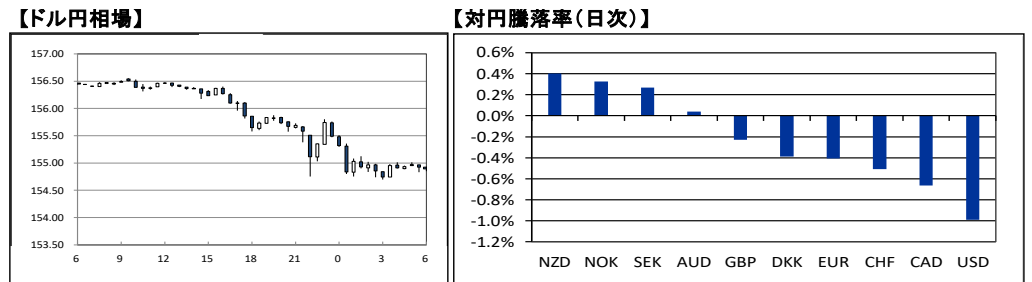
みずほCustomer Desk Report 2024/05/16 号(As of 2024/05/15)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	156.53
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	156.54	1.0814	169.25	1.2585	0.6624
SYD-NY High	156.55	1.0886	169.39	1.2686	0.6694
SYD-NY Low	154.70	1.0814	168.11	1.2585	0.6622
NY 5:00 PM	154.89	1.0885	168.59	1.2686	0.6693
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,908.00	349.89	日本2年債	0.3300%	▲0.0100%
NASDAQ	16,742.39	231.21	日本10年債	0.9500%	▲0.0100%
S&P	5,308.15	61.47	米国2年債	4.7248%	▲0.0952%
日経平均	38,385.73	29.67	米国5年債	4.3442%	▲0.1146%
TOPIX	2,730.88	▲0.07	米国10年債	4.3430%	▲0.1014%
シゴ日経先物	38,720.00	110.00	独10年債	2.4220%	▲0.1180%
ロンドンFT	8,445.80	17.67	英10年債	4.0665%	▲0.1045%
DAX	18,869.36	152.94	豪10年債	4.3340%	0.0000%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	8.67%	▲0.29%
上海総合	3,119.90	▲25.87	USDJPY 3M Vol	8.90%	▲0.19%
NY金	2,394.90	35.00	USDJPY 6M Vol	9.14%	▲0.25%
WTI	78.63	0.61	USDJPY 1M 25RR	▲0.90%	Yen Call Over
CRB指数	289.97	2.59	EURJPY 3M Vol	8.39%	▲0.13%
ドルインデックス	104.35	▲0.67	EURJPY 6M Vol	8.78%	▲0.13%

東京	東京時間のドル円は156.54レベルでオープン。昨日の米金利の低下を受けドル円は軟調な推移となり一時156.18をつけた。本日海外時間には米CPI・米小売売上高の発表を控えていることから値幅は限定的にとどまり、結局156.37レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.37レベルでオープン。終始円高ムードで、155.58円まで売られ155.66レベルでNYに渡った。ユーロやポンドは動意薄だったが、午後に米指標を控えてドル円は調整売りとの見方があった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は156円台半ばでスタート。複数の主要な米経済指標の結果発表を控えている中、持ち高調整の売りや米金利の低下を背景に、ドル円は軟調な値動きとなり、155.66レベルでNYオープン。朝方に発表された米4月ヘッドラインCPI(前月比)と米4月小売り売上高(前月比)が共に予想を下回り、発表後はドル売りが優勢となり、154.75まで売られる。売り一巡後は一時155.80まで戻す場面もあったが、買い戻しは長く続かず、その後155.10まで反落。午後はカシカリ・ミネアポリス連銀総裁が「もう少し長く現行の政策金利を維持する必要がある」との認識を示すも、ドル円は反応薄。その後も米金利が低下幅を拡大する動きが重しとなり、154.70まで続落。その後は下げ渋り、小幅反発し、154.89レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。米CPI等の結果発表を前に様子見ムードが強まり、1.0820近辺での静かな値動きが続き、1.0829レベルでNYオープン。朝方は冴えない米CPIや小売り売上高の結果を背景に、1.0869まで上昇。その後、一時1.0830近辺まで反落するも、米金利が再び低下する展開を横目に、1.0870近辺まで反発。午後ユーロ高の展開が続き、1.0886まで上値を伸ばし、1.0885レベルでクロス。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event	結果	予想		
5月15日	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q 0.3%/0.4%	0.3%/0.4%		
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	3月 0.6%	0.4%		
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	5月 -15.6	-10		
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	4月 0.3%/3.4%	0.4%/3.4%		
	21:30	米 小売売上高速報(前月比/除自動車前月比)	4月 0%/0.2%	0.4%/0.2%		
	23:00	米 バーFRB副議長 講演	米銀への資本規制には重要な変更がされるだろう			
5月16日	01:00	米 カシカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	もう少し長く現行の政策金利を維持する必要			
【本日の予定】						
Date	Time	Event	予想	前回		
5月16日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	1Q -1.2%	0.4%		
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	1Q 3.3%	3.9%		
	10:30	豪 失業率	4月 3.9%	3.8%		
	10:30	豪 雇用者数変化	4月 23.7k	-6.6k		
	21:30	米 新規失業保険申請件数	11-May 220k	231k		
	21:30	米 住宅着工件数	4月 1421k	1321k		
	21:30	米 住宅着工・許可件数(前月比)	4月 7.6%/0.9%	-14.7%/-3.7%		
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	4月 0.1%	0.4%		
	23:00	米 バーFRB副議長 講演	-	-		
	23:00	米 パーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-		



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.20-155.20	1.0820-1.0920	167.70-169.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟調な展開となった。欧州時間から米4月消費者物価指数(CPI)の発表を控えてドルの調整売りが強まる中、発表されたCPIは、前年同月比・前月比で伸びが鈍化、同時に発表された米4月小売売上高も予想を下回る軟調な結果となった。FRBによる利下げ先送り観測の後退で米長期金利が低下する動きを背景に、ドル/円も154円台後半まで急落。その後、一旦は買い戻されるものの、米10年債利回りが4.41%台から4.33%台に低下したことが重しとなり、再度154円台後半に下落。東京時間早朝もドル売りは継続し、154円台半ばに軟化している。本日のドル/円は上値重い展開を予想する。足元、発表される米経済指標は低調な結果が続いていることから、海外時間の流れを引き継いで、ドルは売られやすい地合いが継続すると思われる。しかし一方で、米利下げ期待の高まりで、米株式市場は3指数揃って取引時間中の最高値を更新する堅調な動きとなっている。また、米長期金利も下げ止まっていること等ドルのサポートとなり、ドル/円の下値は限定的となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。